

# 建築研究所ニュース



平成23年11月24日

平成24年3月9日（金）に、「東日本大震災に学ぶ ー復興・再生に向けた建研の取組みー」をテーマに、建築研究所講演会を開催します。

建築研究所講演会は、年に一度（毎年3月）、建築研究所の研究成果や調査活動の報告を通して、住宅・建築・都市分野の最新の技術情報を広く一般の方々に提供するために開催しているものです。今回は、テーマを「東日本大震災に学ぶ ー復興・再生に向けた建研の取組みー」とし、平成24年3月9日（金）に有楽町朝日ホールにおいて開催いたします。

日時	平成24年3月9日（金）10:30～16:30（開場 10:00）
会場	有楽町朝日ホール（東京・有楽町マリオン11階）
テーマ	東日本大震災に学ぶ ー復興・再生に向けた建研の取組みー
入場料	無料（事前登録不要です。もれなく講演会テキストを配布します。）

## ○ 建築研究所からの講演

建築研究所からは、下表のとおり、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の直後から建研が取り組んできた調査・研究活動に関して最新の情報をいち早くご紹介いたします。また、国土交通省の担当官からも「国土交通省の東日本大震災への取組み」について最新の状況をご紹介いただく予定です。

地震動による建築物被害から見た耐震設計の現状と今後の課題	構造研究グループ長 飯場 正紀
地震による天井の脱落被害および耐震対策	建築生産研究グループ 主任研究員 脇山 善夫
被災者に対する住宅供給の現状と課題	住宅・都市研究グループ 研究員 米野 史健
津波避難ビルの構造設計法	構造研究グループ 上席研究員 福山 洋
長周期地震動と建物応答	構造研究グループ 主席研究監 大川 出

## ○ 特別講演（東京大学名誉教授、(財)日本建築防災協会理事長 岡田 恒男氏）

今回は、耐震工学の第一人者として、国内外の震災の被害調査や復旧指導等をけん引してきた東京大学名誉教授・(財)日本建築防災協会理事長の岡田恒男氏をお迎えして、「我が国の耐震工学の歩みと展望」というタイトルで特別講演をしていただきます。

1936年生まれ、1959年東京大学工学部建築学科卒業、1980年東京大学教授、1996年東京大学名誉教授、1999年(財)日本建築防災協会理事長。国内外の震災の被害調査や復旧指導等に従事。1995年の阪神淡路大震災では、建築学会、土木学会や関係省庁の各種対策委員会委員長・委員を務める。



(社)日本建築学会会長、日本地震工学会会長、国土交通省社会資本整備審議会建築分科会長等を歴任。現在、文部科学省地震調査研究推進本部政策委員長、全国耐震ネットワーク委員会委員長等。2010年「建築物の耐震性評価とその向上に関する一連の研究および地震防災技術の普及に関する貢献」により日本建築学会大賞を受賞。

- ※ 詳細は、今後、ポスター、チラシ、ホームページでご案内します。  
また、上述の内容については変更する場合がありますので、予めご了承ください。

**(内容の問合せ先)**

独立行政法人 建築研究所  
所属 企画調査課  
氏名 村上、村山、川崎  
電話 029-879-0632 (村上)  
029-879-0635 (村山)  
029-879-0638 (川崎)  
E-mail [kikaku@kenken.go.jp](mailto:kikaku@kenken.go.jp)